

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで **公告方法** 当社公式WEBサイトに掲載します。
 (http://www.dainichi-net.co.jp/)

定時株主総会 毎年6月中 **株主確定基準日** 定時株主総会の議決権 3月31日
 配当 3月31日

その他必要ある時は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	
	証券会社などに口座をお持ちの場合	特別口座の場合
<ul style="list-style-type: none"> ● 氏名、住所などのご変更 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 配当金の受取方法、振込先のご変更 	お取引のある証券会社などにお問い合わせください。	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵便物の発送・返戻に関するお問い合わせ ● 未払配当金に関するご照会 	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。	

※ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-288-324 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

公式WEBサイトのご案内

公式WEBサイトは「製品情報」、「お客様サポート」や「会社情報」をご案内しております。

また、株主・投資家の皆様には、当社をよりご理解いただくために、「株主・投資家情報」で決算短信や財務情報など各種資料を掲載しております。

<http://www.dainichi-net.co.jp/>

ダイニチ 検索



ダイニチ工業株式会社

〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中 780 番地 6



ダイニチ工業株式会社 株主通信

第57期 上半期のご報告 (2019年4月1日～2019年9月30日)

【証券コード:5951】

Dainichi



企業理念 ~ わが社の方針 ~



新しく生み出す技術を核に
役立つ商品を開発するとともに、
販売して下さる小売店様を大切に、
お客様には長く愛情を持って
使い続けていただきたい。

こうした思いは、当社の全ての仕事を
支える基本理念となっています。

目次	トップメッセージ	1
	当第2四半期の概況・通期の見通し	2
	特集	
	お客様の生活を支えるダイニチのモノづくり	
	新製品発表会を開催しました。	3
	新製品のご紹介【暖房機器】	3
	新製品のご紹介【加湿器】	5
	2019年度テレビCMのご紹介	7
	「エネファームミニ」の燃料電池ユニットを共同開発・製品化	8
	決算のご報告 / 会社概要 / 株式の状況	9
	株主メモ / 公式WEBサイトのご案内	裏表紙

Top Message トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、誠にありがたくお礼申し上げます。

当第2四半期累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いており、生産や住宅建設についても弱含んでいるものの、底堅く推移する企業収益や雇用情勢の改善など、景気は緩やかに回復しました。

しかしながら、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向や国際的な通商問題や原油価格の上昇、金融資本市場の変動影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうしたなかにあって当社は、市場や住環境の変化に対応した製品開発に取り組みました。また、高騰する輸送費に対応するとともに、出荷や保管に関する業務の効率化を進めるため、2019年6月に物流センターを稼働させました。

主力分野であります石油暖房機器におきましては、お客様の要望に即した、全14タイプ36機種を発売して冬の需要期に備えております。

また、電気暖房機器におきましては、タンクキャップにAg+抗菌アタッチメントを搭載した加湿セラミックファンヒーターを含む2機種を発売いたしました。

加湿器におきましては、設定湿度への到達時間を従来機より約30%短縮する高い加湿能力と、ご家庭での使いやすい本体サイズやお部屋に溶け込むデザインを融合させたハイブリッド式加湿器のハイエンドモデル「LXシリーズ」2機種を発売いたしました。

当第2四半期の概況

当第2四半期累計期間の業績は、売上高は56億86百万円（前年同期比1.5%減）、営業損失は3億46百万円（同1億60百万円増）、経常損失は2億64百万円（同1億68百万円増）、四半期純損失は2億円（同66百万円増）となりました。

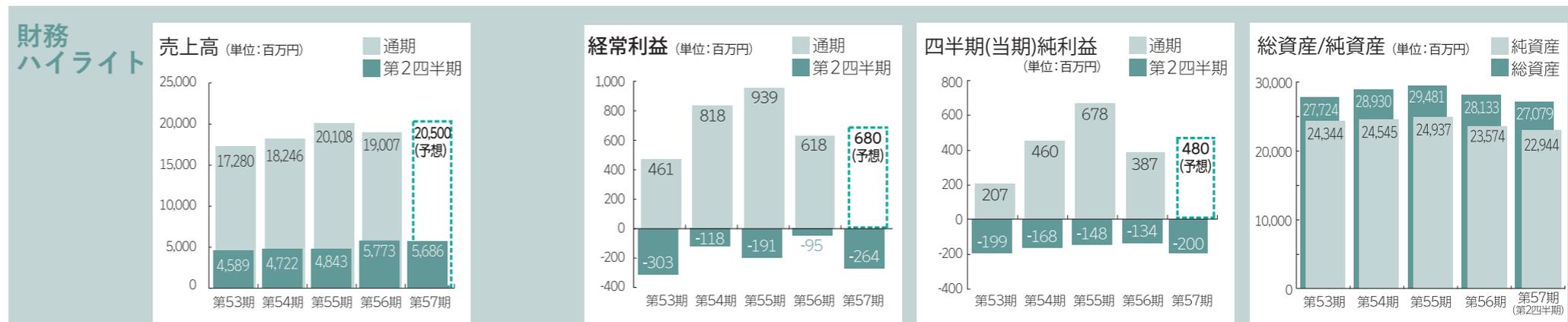
通期の見通し

第57期におきましては、売上高205億円、営業利益6億40百万円、経常利益6億80百万円、当期純利益4億80百万円を予定しております。

業績は原油価格の動向や冬期の気候条件などにも影響されますが、当社製品への期待は根強いものがあると実感しております。

通期目標の達成に向けて全力で取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月
代表取締役社長 吉井 久夫



新製品発表会を開催しました。

8月21日(水)、第一ホテル東京シーフォート(東京都品川区)にて新製品発表会を開催し、新聞をはじめ、各メディアにご来場いただき、家庭用石油ファンヒーター、加湿器の2019年度新製品を発表しました。

ゲストにラグビー元日本代表の畠山健介さんにお越しいただき、加湿器についてのトークセッションを行ない、加湿の必要性や新モデル「LXシリーズ」の魅力について参加者に理解を深めてもらいました。



アスリートとして、また小さなお子さんたちのパパとして、お部屋の乾燥は気になるという畠山さん(右)とトークセッションを行ないました。

新製品のご紹介【暖房機器】

家庭用石油ファンヒーター

2018年度よりご好評をいただいている、3枚の動くフラップと2枚の固定ルーバを搭載し足元からお部屋を効率よくあたためるSGXタイプを始め、全31機種を発売しました。

2018年度は3タイプ6機種に搭載していた35秒着火を、多くの方に少しでも早くあたためかさをお届けできるよう、今年度は8タイプ15機種に拡大しました。



※1 2007～2018年度(年度=4月1日～3月31日)石油ファンヒーターメーカー別販売数量シェアダイニチ(全国有力家電量販店の販売実績集計/GfK Japan調べ)。詳しくは暖房機カタログをご覧ください。

業務用石油ストーブ

業務用石油ストーブは事務所や工場など広い空間でのご使用が多く、よりパワフルな暖房能力が求められています。

新機能のオートターボ運転は、運転開始時に自動で最大火力を約5%※2アップします。

従来の機種に比べ、室温15℃に達するまでの時間を約4分短縮しました。



※2 FM-10F、FM-19Fのみ / 自動運転モード時のみ / 室温が15℃以下の場合に作動。使用環境や使用状況により異なる場合があります。

セラミックファンヒーター

当社のセラミックファンヒーターは発売5年目を迎え、後発ながらもトリプル安全装置付き、日本製、本体3年保証といった安心のポイントをご評価いただき、年々販売を拡大しています。

加湿セラミックファンヒーターは、タンクキャップにAg⁺抗菌アタッチメントを搭載し、より清潔にお部屋をうるおします。



新製品のご紹介【加湿器】

高い加湿能力と、ご家庭でも使いやすい本体サイズやお部屋に溶け込むデザインを融合させた LX シリーズが新登場。2019 年度は 4 シリーズ、20 機種をラインナップに揃え、好調なスタートをきっています。

ダイニチの加湿器の3つのポイント「静音性」、「日本製」、「3年保証」は高く評価いただき、日本中の多くの方にご支持いただいております。



※1 2013～2018年度(年度=4月1日～3月31日)加湿器メーカー別数量・金額シェア ダイニチ(全国有力家電量販店の販売実績集計/GfK Japan 調べ)。

■LXシリーズのご紹介

当社ではご使用者アンケートやお客様ご相談窓口へのご連絡、時には開発者が販売店の店頭に立ち、さまざまなニーズを集めます。

そのような調査で二つの傾向が見えてきました。

- ・家庭用加湿器でその加湿能力を超えた広い部屋で使っている。
- ・業務用の加湿器を家庭で使っている。



これを受け、1,200mL/h^{*2} の高い加湿能力と、ご家庭でも使いやすい本体サイズやお部屋に溶け込むデザインを融合させた製品、LX シリーズが誕生しました。

【デザインだけではなく、使いやすさも重視】



持ちやすいタンクWって
7.0L入る大容量タンクには上下に2つのとっけが取り付けられているので、水を入れて重くなったタンクを両手で持って安定して持ち運ぶことが可能です。



カンタン取替トレイカバー
使い捨てのカバーをトレイにセットすることにより、面倒なトレイの洗浄の手間をなくすることができます。



カンタン持ち運びハンドル
本体を移動する時や片付けるとき、ハンドルがあるので片手でラクラク持ち運べます。

【パワフルになっても運転音は静か】

パワフルになっても最小運転音は 13dB で、静かにお部屋をうるおします。

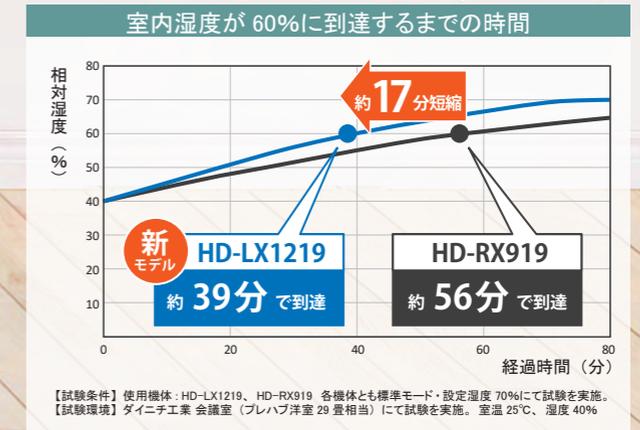


【設定湿度への到達時間を従来機^{*3}より約30%短縮^{*2}】

HD-LX1219 とデザインモデルの最大機種 (HD-RX919) で同じ条件の部屋を加湿し、加湿能力を測定。

HD-LX1219 は HD-RX919 よりも約17分 (約30%) 早く、湿度60%に到達しました。

※2 HD-LX1219 の場合。HD-LX1019 は異なります。
※3 RX シリーズ最大の 900mL/h クラスのこと。



特集 2019 年度テレビ CM のご紹介

2018 年度に引きつづき、テレビ CM にはモデルの RINA さんにご出演いただきました。製品の魅力をキュートにお伝えします。

【加湿器 LX シリーズ編】



リビングのソファで読書をする RINA さん。お部屋が乾燥して喉がイガイガ。そこでダイニチの加湿器をスイッチ ON! お部屋がパワフルにうるおい、あっという間に快適に。しかもとっても静かなので、ついウトウトしてしまうのでは。



【家庭用石油ファンヒーター SGX タイプ編】



妖精になった RINA さんが SGX タイプの特長「快温トリプルフラップ」、「スピード着火」をご紹介。足元から広がる温風で快適になったお部屋にご満悦の様子です。

放送予定 (～ 2019 年 12 月)

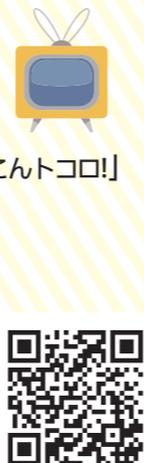
テレビ東京系列局
(テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビ北海道、
テレビせとうち、TVQ九州放送)

「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ!」

毎週金曜 20:54-21:54

※特別番組により放映時間帯は変更されることがあります

 **Channel Dainichi**
こちらからご覧いただけます。
<https://goo.gl/xYFPc1>



特集 「エネファームミニ」の燃料電池ユニットを共同開発・製品化

高効率家庭用燃料電池コージェネレーションシステム

京セラ株式会社(社長:谷本 秀夫、以下「京セラ」)とパーパス株式会社(社長:高木 裕三、以下「パーパス」)との間で世界最小サイズ※1 の家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「エネファームミニ」の「燃料電池ユニット(貯湯タンク内蔵)」を共同開発※2 し、東京ガス株式会社(社長:内田 高史、以下「東京ガス」)に採用されました。

また、当社は京セラから「燃料電池ユニット(貯湯タンク内蔵)」の製造を受託し、当社の本社工場で製造いたします。「燃料電池ユニット(貯湯タンク内蔵)」は京セラブランドとして東京ガスに供給し、東京ガスはパーパス製の「熱源機」を組み合わせて2019年10月30日より販売を開始しました。

※1 定置型家庭用燃料電池において世界最小サイズ(京セラ調べ)。2019年10月10日時点。
※2 開発にあたり、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託業務の結果から得られた成果を一部活用。

熱源機



燃料電池ユニット



【世界最小】

隣家との距離が近いなどスペースが限られた住宅でも設置できます。

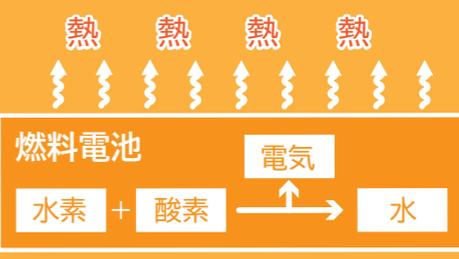
【停電時でも発電可能】

停電が発生しても発電を継続します。ガスが供給されていれば電気をつくることのできるため、万一のときに安心です。

エネファーム※3について

「エネファーム」は都市ガスから取り出した水素を空気中の酸素と化学反応させて発電し、発電した電気は家庭内で利用します。その際に出る熱も給湯に利用します。電気をつくる場所と使う場所が同じであるため、送電ロスがなく、また発電時に出る熱を無駄なく活用できる環境に大変やさしいシステムです。火力発電所からの電気と都市ガス給湯器からの給湯を行う方式と比べ、CO₂排出量、一次エネルギー消費量を削減できます。

燃料電池が電気をつくるしくみ



※3 「エネファーム」および「ENE・FARM」は、JXTG エネルギー株式会社、大阪ガス株式会社、および東京ガス株式会社の登録商標です。

決算のご報告

貸借対照表

(単位:百万円/百万円未満切捨)

	当第2四半期 会計期間 2019年9月30日現在	前事業年度 2019年3月31日現在
流動資産	17,145	19,369
固定資産	9,934	8,763
有形固定資産	8,481	7,347
無形固定資産	19	23
投資その他の資産	1,433	1,392
資産合計	27,079	28,133
流動負債	3,265	3,654
固定負債	870	904
負債合計	4,135	4,558
株主資本	22,738	23,294
評価・換算差額等	205	279
純資産合計	22,944	23,574
負債純資産合計	27,079	28,133

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円/百万円未満切捨)

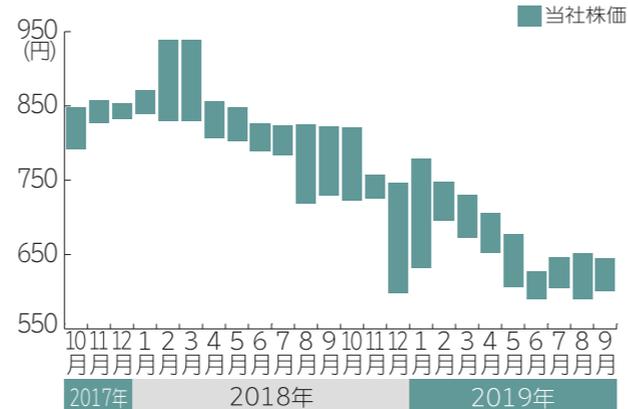
	当第2四半期 累計期間 (2019年4月1日 2019年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (2018年4月1日 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,401	△ 7,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,452	△ 1,498
財務活動によるキャッシュ・フロー	544	△ 388
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 8,308	△ 9,239
現金及び現金同等物の期首残高	10,572	15,645
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,263	6,406

損益計算書

(単位:百万円/百万円未満切捨)

	当第2四半期 累計期間 (2019年4月1日 2019年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (2018年4月1日 2018年9月30日)
売上高	5,686	5,773
売上原価	3,953	3,914
売上総利益	1,733	1,859
販売費及び一般管理費	2,079	2,044
営業損失(△)	△ 346	△ 185
営業外収益	89	94
営業外費用	8	5
経常損失(△)	△ 264	△ 95
特別損失	29	75
税引前四半期純損失(△)	△ 294	△ 171
法人税、住民税及び事業税	9	10
法人税等調整額	△ 103	△ 48
四半期純損失(△)	△ 200	△ 134

株価の推移



会社概要 / 株式の状況

会社概要

2019年9月30日現在

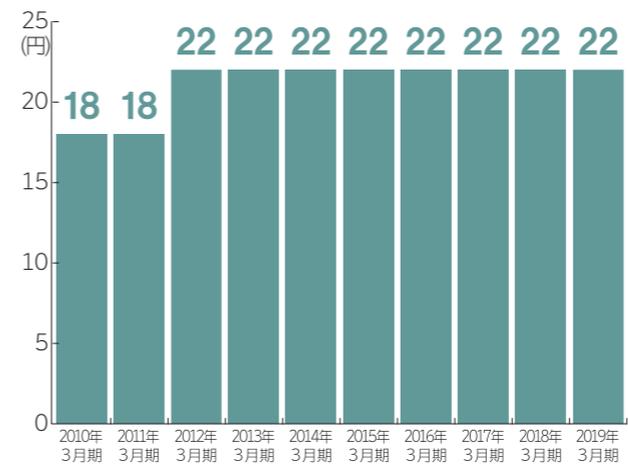
社名	ダイニチ工業株式会社
英文社名	Dainichi Co.,Ltd.
本社	〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中780番地6
設立	1964年4月1日
資本金	40億5,881万円
従業員数	499名

株式の状況

2019年9月30日現在

発行可能株式総数	54,767,100株
発行済株式の総数	19,058,587株
株主数	3,821名

1株当たりの配当金の推移



大株主(上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ビー・エッチ	1,841	11.38
株式会社ダイニチビル	1,361	8.41
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	926	5.72
ダイニチ工業従業員持株会	923	5.71
株式会社第四銀行	800	4.94
吉井 久夫	570	3.53
吉井 久美子	556	3.44
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	493	3.05
渥美 るみ子	391	2.42
吉井 唯	378	2.34

※ 当社は自己株式を2,872,996株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。なお、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。

所有者別株式比率

